

御挨拶

東京都立青峰学園のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。
第8代目校長として着任し2年目を迎えました、田村 貴代美です。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は、古き良き伝統のある青梅の地に、肢体不自由教育部門と知的障害教育部門の併置校として平成21年4月に開校し、今年で18年目を迎えました。肢体不自由教育部門は小学部・中学部・高等部普通科を設置し、通学区は多摩地域の最西部である青梅市と奥多摩町です。一方、知的障害教育部門は高等部就業技術科を設置しています。本学科は、企業就労100%を目指しており、東京都全域から出願ができる専門学科です。

本校は、開校以来「切磋琢磨」を校訓とし、他者と関わり合いながら共に学び、共に磨き合い、人間性を涵養していく学校として取り組んでまいりました。「切磋琢磨」は児童・生徒間だけでなく、教職員も共に成長する存在として、常に児童・生徒に寄り添い、専門性を磨きながら学び続けている学校です。

開校時に比べると、飛躍的に多様性の認識が広がりつつある一方で、世界情勢や社会生活は著しく変化しています。どんな社会であっても、本校で学ぶ児童・生徒が個々の持ち味を生かし、各々が考え行動する力を付けていくために、一人一人の活躍の芽を見出し、輝く場を創出してまいります。そして、次期学習指導要領の動向を鑑みながら、個別最適な学びの実践に取り組み、児童・生徒の主体的な学びを促し、積極的に地域等校外での活動を行って実践的な社会経験を積み重ねていきます。また、本校の強みでもある情報教育に引き続き力を入れ、基本的なパソコン技能やICT機器活用技能に加え、AIに関する取扱い知識を学ぶなど、これからの社会に適応する技能や知識を身に付ける指導にも取り組んでまいります。

学校は誰にとっても楽しい場所であるよう、児童・生徒及び教職員が両部門の障害種を超え、一体となって取り組む開校以来の「青峰スタイル」を変わらず継承し、引き続き共生社会の具現化を図ってまいります。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様、企業・関係機関の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます、挨拶といたします。

令和八年四月一日

東京都立青峰学園
校長 田村 貴代美